

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第92期第2四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 後藤 佐恵子
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル3階
【電話番号】	(054)288-5200
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営企画本部長 川隅 義之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) はごろもフーズ株式会社東京支店 (東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル) はごろもフーズ株式会社名古屋支店 (愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄) はごろもフーズ株式会社大阪支店 (大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第2四半期 連結累計期間	第92期 第2四半期 連結累計期間	第91期
会計期間	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2020年4月1日 至2020年9月30日	自2019年4月1日 至2020年3月31日
売上高 (千円)	42,294,361	43,284,961	82,852,186
経常利益 (千円)	1,652,864	2,818,421	3,402,675
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,115,322	2,081,533	2,316,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	985,529	2,447,598	1,735,840
純資産額 (千円)	27,932,644	30,697,390	28,513,292
総資産額 (千円)	50,442,346	56,312,357	51,294,918
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	118.51	221.19	246.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.4	54.5	55.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	273,594	1,649,652	2,488,967
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,233,803	1,622,276	2,007,033
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	993,129	378,844	816,387
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	843,437	2,514,825	2,108,785

回次	第91期 第2四半期 連結会計期間	第92期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2020年7月1日 至2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	59.92	117.73

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

2020年3月期の有価証券報告書（2020年6月26日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による在宅勤務の拡大や学校の休校等があり、家庭内の食事機会が増加したことで、家庭向けの缶詰・パスタ製品等の販売が好調に推移しました。一方で、外出自粛の影響による外食機会の減少等から、業務用製品の販売が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比2.3%増の432億84百万円となりました。利益面では、主原料の価格が安定して推移したこと等により、営業利益は25億65百万円（前年同期比66.8%増）、海外関連会社の持分法による投資利益が増加したこと等により、経常利益は28億18百万円（同70.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億81百万円（同86.6%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	20,174,526	47.7	20,977,876	48.5	803,349	4.0
		デザート	2,723,741	6.5	3,214,059	7.4	490,318	18.0
		パスタ&ソース	4,157,298	9.8	4,466,753	10.3	309,455	7.4
		総菜	3,707,666	8.8	4,129,946	9.5	422,279	11.4
		削りぶし・のり・ふりかけ類	2,371,778	5.6	2,319,315	5.4	52,462	2.2
		ギフト・その他食品	1,789,607	4.2	1,589,490	3.7	200,117	11.2
		計	34,924,618	82.6	36,697,441	84.8	1,772,822	5.1
	業務用食品	6,347,573	15.0	5,502,449	12.7	845,124	13.3	
	ペットフード・バイオ他	782,457	1.8	842,498	1.9	60,040	7.7	
	計	42,054,649	99.4	43,042,388	99.4	987,739	2.3	
その他	239,712	0.6	242,572	0.6	2,860	1.2		
合計	42,294,361	100.0	43,284,961	100.0	990,599	2.3		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、油漬タイプの「シーチキン」に加え、健康志向に対応した「オイル不使用シーチキン」や個食ニーズに対応したパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが引き続き好調で、売上高は前年同期比4.0%増加しました。

「デザート」では、家庭で手作りデザートがブームになったことも影響し、売上高は同18.0%増加しました。

「パスタ&ソース」では、結束タイプのスパゲッティが引き続き好調で、売上高は同7.4%増加しました。

「総菜」では、紙容器入りタイプも含めた「シャキッとコーン」シリーズや個食ニーズに対応したパウチタイプの「健康シリーズ」が引き続き好調で、売上高は同11.4%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、かつおバックが好調だったものの、味付けのりやふりかけ類の競争が激化したことにより、売上高は同2.2%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、包装米飯「パパッとライス」は引き続き好調でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「ギフト」が振るわず、売上高は同11.2%減少しました。

「業務用食品」では、第1四半期に比べ回復傾向にあるものの、外食やコンビニエンスストア向けの販売が振るわず、売上高は同13.3%減少しました。

「ペットフード・バイオ他」では、フィッシュミールやエキスが原料不足もあり減少しましたが、猫用ペットフード「無一物」シリーズ等が好調で、売上高は同7.7%増加しました。

財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より50億17百万円増加して、563億12百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）が25億2百万円、投資有価証券が7億16百万円、商品及び製品が5億84百万円、原材料及び貯蔵品が5億37百万円ならびに受取手形及び売掛金が5億25百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より28億33百万円増加して、256億14百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が15億73百万円、販売促進引当金が14億20百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より21億84百万円増加して、306億97百万円となりました。これは主に、利益剰余金が18億18百万円、その他有価証券評価差額金が4億32百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.6%から54.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、4億6百万円増加し、25億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は16億49百万円（前年同期は2億73百万円の増加）となりました。これは主に、未払金の減少やたな卸資産が増加したものの、税金等調整前四半期純利益を計上したことや仕入債務およびその他の引当金の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は16億22百万円（前年同期は12億33百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により増加した資金は3億78百万円（前年同期は9億93百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払があったものの、長期借入金による収入があったことによるものです。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、86,493千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の、重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積りにつきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（追加情報）」をご参照ください。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,300,000
計	41,300,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,325,365	10,325,365	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	10,325,365	10,325,365		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	-	10,325,365	-	1,441,669	-	-

(5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡市清水区辻1-1-1	4,391	46.67
はごろも高翔会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	843	8.96
後藤康雄	静岡市清水区	427	4.55
株式会社静岡銀行	静岡市葵区呉服町1-10	291	3.10
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2	291	3.10
はごろもフーズ従業員持株会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	160	1.70
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	150	1.59
木内建設株式会社	静岡市駿河区国吉田1-7-37	135	1.44
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	108	1.15
東洋製罐グループホールディングス株式会社	東京都品川区東五反田2-18-1	86	0.91
計	-	6,885	73.17

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 914,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,389,800	93,898	-
単元未満株式	普通株式 20,965	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,325,365	-	-
総株主の議決権	-	93,898	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式20株が含まれています。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区 島崎町151	914,600	-	914,600	8.86
計	-	914,600	-	914,600	8.86

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は914,620株です。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。
なお、役職の異動は、次のとおりです。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役 新清水プラント工場長	取締役 シーチキン・デザート・ 総菜ユニット新清水プラント準備 室長	望月 浩志	2020年9月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、双研日栄監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,108,785	2,514,825
受取手形及び売掛金	18,417,153	18,942,583
商品及び製品	7,396,027	7,980,289
仕掛品	83,331	44,753
原材料及び貯蔵品	2,702,186	3,239,254
その他	1,859,307	2,041,088
貸倒引当金	4,063	2,289
流動資産合計	32,562,729	34,760,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,111,214	6,613,248
土地	3,487,847	3,487,847
その他(純額)	4,050,819	3,775,655
有形固定資産合計	11,649,881	13,876,750
無形固定資産		
投資その他の資産	389,278	466,247
投資有価証券	6,044,421	6,760,798
退職給付に係る資産	54,488	-
その他	597,778	451,568
貸倒引当金	3,659	3,512
投資その他の資産合計	6,693,028	7,208,855
固定資産合計	18,732,189	21,551,852
資産合計	51,294,918	56,312,357
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,134,671	13,708,221
1年内返済予定の長期借入金	77,440	202,652
未払金	5,577,664	5,226,822
未払法人税等	952,130	772,438
売上割戻引当金	35,609	81,888
販売促進引当金	2,745	1,423,438
賞与引当金	349,078	389,657
その他	920,588	417,373
流動負債合計	20,049,927	22,222,492
固定負債		
長期借入金	1,122,560	1,677,906
役員退職慰労引当金	804,156	757,096
退職給付に係る負債	12,735	28,275
その他	792,245	929,197
固定負債合計	2,731,698	3,392,474
負債合計	22,781,625	25,614,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	26,613,177	28,431,210
自己株式	2,162,718	2,162,718
株主資本合計	26,834,656	28,652,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,045,553	2,478,332
繰延ヘッジ損益	70,348	8,762
為替換算調整勘定	125,278	149,976
退職給付に係る調整累計額	311,986	292,417
その他の包括利益累計額合計	1,678,636	2,044,701
純資産合計	28,513,292	30,697,390
負債純資産合計	51,294,918	56,312,357

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	42,294,361	43,284,961
売上原価	26,757,695	26,334,468
売上総利益	15,536,666	16,950,492
販売費及び一般管理費	13,998,261	14,384,544
営業利益	1,538,404	2,565,948
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	85,983	87,925
持分法による投資利益	-	116,022
仕入割引	16,937	19,118
賃貸料収入	36,057	35,665
その他	30,680	24,635
営業外収益合計	169,662	283,374
営業外費用		
支払利息	2,152	2,807
賃貸収入原価	20,895	16,641
持分法による投資損失	23,491	-
その他	8,663	11,451
営業外費用合計	55,202	30,900
経常利益	1,652,864	2,818,421
特別利益		
固定資産売却益	10,750	611
投資有価証券売却益	880	-
特別利益合計	11,631	611
特別損失		
固定資産除却損	1,395	7,846
固定資産売却損	-	991
投資有価証券売却損	130	-
災害による損失	-	3,519
特別損失合計	1,525	12,357
税金等調整前四半期純利益	1,662,969	2,806,675
法人税等	547,646	725,142
四半期純利益	1,115,322	2,081,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,115,322	2,081,533

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,115,322	2,081,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,188	432,779
繰延ヘッジ損益	4,226	61,585
退職給付に係る調整額	10,382	17,087
持分法適用会社に対する持分相当額	31,760	22,216
その他の包括利益合計	129,793	366,064
四半期包括利益	985,529	2,447,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985,529	2,447,598
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,662,969	2,806,675
減価償却費	454,562	462,716
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,272	1,920
その他の引当金の増減額(は減少)	1,454,380	1,460,491
受取利息及び受取配当金	85,986	87,931
支払利息	2,152	2,807
為替差損益(は益)	651	537
持分法による投資損益(は益)	23,491	116,022
売上債権の増減額(は増加)	3,294,740	525,429
たな卸資産の増減額(は増加)	583,092	1,244,271
未収入金の増減額(は増加)	43,993	250,064
仕入債務の増減額(は減少)	162,064	1,573,550
未払金の増減額(は減少)	1,434,006	1,573,624
その他	720,726	36,591
小計	290,774	2,469,847
利息及び配当金の受取額	85,986	87,931
利息の支払額	2,214	3,190
法人税等の支払額	100,952	907,549
法人税等の還付額	-	2,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	273,594	1,649,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,169,154	1,638,128
投資有価証券の取得による支出	12,687	4,407
貸付金の回収による収入	167	233
その他	52,127	20,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,233,803	1,622,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	700,000
長期借入金の返済による支出	-	19,442
ファイナンス・リース債務の返済による支出	37,337	38,212
自己株式の取得による支出	137	-
配当金の支払額	169,396	263,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	993,129	378,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	193	181
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,726	406,039
現金及び現金同等物の期首残高	810,711	2,108,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	843,437	2,514,825

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の流行やその収束時期等の仮定について、当連結会計年度の第1四半期報告書の(追加情報)の記載から重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
販売奨励金	7,401,481千円	7,684,416千円
販売促進引当金繰入額	1,349,362	1,423,438
広告宣伝費	879,645	775,829
荷造運賃	1,040,686	1,097,597
給料及び手当	765,938	783,787

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金勘定	843,437千円	2,514,825千円
現金及び現金同等物	843,437	2,514,825

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2019年6月27日の第90期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,396千円
(ロ) 1株当たり配当額	18円00銭
(ハ) 基準日	2019年3月31日
(ニ) 効力発生日	2019年6月28日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

2019年11月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,395千円
(ロ) 1株当たり配当額	18円00銭
(ハ) 基準日	2019年9月30日
(ニ) 効力発生日	2019年12月6日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2020年6月26日の第91期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	263,500千円
(ロ) 1株当たり配当額	28円00銭
(うち記念配当10円を含む)	
(ハ) 基準日	2020年3月31日
(ニ) 効力発生日	2020年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

2020年11月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	235,268千円
(ロ) 1株当たり配当額	25円00銭
(うち記念配当7円を含む)	
(ハ) 基準日	2020年9月30日
(ニ) 効力発生日	2020年12月4日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)および当第2四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

1年内返済予定の長期借入金、長期借入金およびデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(2020年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	77,440	77,440	-
(2)長期借入金	1,122,560	1,105,091	17,468
(3)デリバティブ取引()	100,311	100,311	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しています。

当第2四半期連結会計期間(2020年9月30日)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	202,652	202,652	-
(2)長期借入金	1,677,906	1,658,919	18,986
(3)デリバティブ取引()	12,494	12,494	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)1年内返済予定の長期借入金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(2)長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

(3)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	118円51銭	221円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,115,322	2,081,533
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,115,322	2,081,533
普通株式の期中平均株式数(株)	9,410,876	9,410,745

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【その他】

2020年11月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 235,268千円

(ロ) 1株当たりの金額 25円00銭

(うち記念配当7円を含む)

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 2020年12月4日

(注) 2020年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

はごろもフーズ株式会社
取締役会 御中

双研日栄監査法人
東京都中央区

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉澤 秀雄

指定社員
業務執行社員 公認会計士 箕輪 光紘

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續を実施する。四半期レビュー手續は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手續である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。